

第44回「放送文化基金賞」表彰対象について

放送文化基金賞は、過去1年間（平成29年4月～30年3月）の放送の中から選ばれた、優れたテレビ、ラジオ番組や個人・グループに毎年贈られる賞です。今回は、全国の民放、NHK、プロダクションなどから、全部で286件の応募、推薦がありました。4月から約2か月にわたる厳正な審査の結果、テレビドキュメンタリー、テレビドラマ、テレビエンターテインメント、ラジオの4つの番組部門で、それぞれ最優秀賞、優秀賞、奨励賞の16番組と、演技賞や企画賞など個人6件、さらに個人・グループ部門の放送文化、放送技術で7件の受賞が決まりました。

受賞者には、賞牌・トロフィー、賞金が贈られます。賞金は、番組部門の最優秀賞—100万円、優秀賞—50万円、奨励賞—30万円、番組部門の個人賞—20万円、個人・グループ部門—30万円です。

贈呈式は、平成30年7月3日(火) 午後4時30分からホテルオークラ東京で行います。

1. 番組部門—————16番組、6件

- (1) テレビドキュメンタリー番組……………5番組
最優秀賞—1 優秀賞—1 奨励賞—3
- (2) テレビドラマ番組……………4番組
最優秀賞—1 優秀賞—1 奨励賞—2
- (3) テレビエンターテインメント番組……………4番組
最優秀賞—1 優秀賞—1 奨励賞—2
- (4) ラジオ番組……………3番組
最優秀賞—1 優秀賞—1 奨励賞—1
- (5) 個人……………6件
「演技賞」——2件
「企画賞」——1件
「脚本賞」——1件
「出演者賞」——1件
「企画・制作賞」——1件

2. 個人・グループ部門—————7件

- (1) 放送文化……………4件
- (2) 放送技術……………3件

お問い合わせ先 放送文化基金 (担当 安部、川副)
東京都渋谷区宇田川町41—1 共同ビル5F
TEL(03)3464—3131

第44回「放送文化基金賞」受賞一覧

部 門	賞 (賞金)	受 賞 者	番 組 名 ・ 業 績	
番 組 部 門	テレビドキュメンタリー番組	最 優 秀 賞 (100万円)	椿プロ、NHKエンタープライズ、NHK	BS1スペシャル 父を捜して 日系オランダ人 終わらない戦争
		優 秀 賞 (50万円)	名古屋テレビ放送	メ〜テレドキュメント 防衛フェリー ～民間船と戦争～
		(30万円)	CBCテレビ	ヤメ暴 ～漂流する暴力団離脱者たち～
		奨 励 賞 (30万円)	NHKエンタープライズ、オルタスジャパン、NHK	BS1スペシャル 銀嶺の空白地帯に挑む ～カラコルム・シスパーレ～
		(30万円)	NHK青森放送局	ETV特集 亜由未が教えてくれたこと
	テレビドラマ番組	最 優 秀 賞 (100万円)	ドリマックス・テレビジョン、TBSテレビ	金曜ドラマ アンナチュラル
		優 秀 賞 (50万円)	NHK、NHKエンタープライズ	特集ドラマ 「眩～北斎の娘～」
		(30万円)	NHK	特集ドラマ どこにもない国
		奨 励 賞 (30万円)	テレビ東京	新春ドラマスペシャル 娘の結婚
	テレビエンターテインメント番組	最 優 秀 賞 (100万円)	TBSテレビ	クレイジージャーニー
		優 秀 賞 (50万円)	福井テレビ	日々好日 ～河和田のお達者4兄弟～
		(30万円)	NHK	人名探究バラエティー 日本人のおなまえっ！ 村がつく名字
		奨 励 賞 (30万円)	テレコムスタッフ、NHKエンタープライズ、NHK	小野田さんと、雪男を探した男 鈴木紀夫の冒険と死
	ラジオ番組	最 優 秀 賞 (100万円)	静岡放送	SBSラジオギャラリー 幸せのカタチ ～本当の親子 本物の親子～
		優 秀 賞 (50万円)	地方民間放送共同制作協議会 火曜日	神田・神保町 レコード屋のおかみさん
		奨 励 賞 (30万円)	NHK	原爆の惨禍を生き抜いて ～知られざる“原爆孤児”～
		演 技 賞 (20万円)	宮崎あおい	特集ドラマ 「眩～北斎の娘～」
		演 技 賞 (20万円)	中井貴一	新春ドラマスペシャル 娘の結婚
		企 画 賞 (20万円)	下野賢志	ヤメ暴 ～漂流する暴力団離脱者たち～
		脚 本 賞 (20万円)	野木亜紀子	金曜ドラマ アンナチュラル
出 演 者 賞 (20万円)		加藤英明	クレイジージャーニー	
企 画 ・ 制 作 賞 (20万円)		原田亜弥子	SBSラジオギャラリー 幸せのカタチ ～本当の親子 本物の親子～	
個人・グループ部門	放 送 文 化	(30万円)	夏井いつき (俳人、エッセイスト)	『プレバト!!』にレギュラー出演し、全国的な俳句ブームを牽引
		(30万円)	「佐藤敏郎のOnagawa Now! 大人のたまり場」制作スタッフ (オナガワエフエム)	臨時災害放送局閉局後も「被災地の今」を被災者自らの手で全国に継続して発信
		(30万円)	発達障害プロジェクト (NHK)	発達障害の理解促進に貢献
		(30万円)	NHKロボコン (NHK)	30年にわたる日本およびアジア太平洋地区へのロボコンの普及
	放 送 技 術	(30万円)	天本光一 (フジテレビジョン)	クラウドプレイアウトシステムの開発
		(30万円)	画像認識AI検討チーム (日本テレビ放送網、東芝、東芝デジタルソリューションズ) 代表 篠田貴之 (日本テレビ放送網)	ロードレース中継における画像認識技術を用いた制作支援 ～AIを用いたReal-time Indexing～
		(30万円)	8K小型カメラ開発・実用化グループ (NHK、日立国際電気、池上通信機、ソニーイメージングプロダクツ&ソリューションズ) 代表 崎山 剛 (NHK)	8K小型カメラの開発と実用化

*番組部門の各賞と個人・グループ部門は、受付順による。

第44回 放送文化基金賞

「番組部門」

— テレビドキュメンタリー番組 —

最優秀賞

タイトル・放送日・制作	スタッフ・出演者等	概要	選考理由
BS1スペシャル 父を捜して 日系オランダ人 終 わらない戦争 平成 29. 10. 8 (日) 椿プロ NHKエンタープラ イズ NHK	制作統括 塩田 純 太田 宏一 ディレクター 金本麻理子 取材 本田 昴輝 野崎 忍 石井 佳美 音響効果 河原久美子 出演 大竹しのぶ (語り) ノル テレーゼ ベントン マライケ グレッセン ナニー ウィルヘルム マリ アン	「日系オランダ人」と呼ばれる人々が数万人規模で存在する。太平洋戦争中、日本軍政下のインドネシアで日本軍兵士や軍属と現地の蘭印系女性との間に生まれた子どもたちだ。終戦後、父は日本に送還され、子どもたちは母親と共にかつての宗主国オランダへ移住した。大半の子どもたちは敵であった「日本人の子」であることを知らされず成長した。後に真実を知り、多くの人々が、戦後 70 年以上たった今も“日本人の父親捜し”を続けている。しかしそれは、日本軍政の担い手だった父と、その父と結ばれた母の過去を知ることにもなる。さらに“父親捜し”は、戦後のオランダに根強く残る日本への反発の中、差別や偏見を恐れて生きた家族の過去に向き合うことでもあった。 前編では父親の存在を巡り、対立する日系人姉妹の日本・インドネシアへの旅。後編では日本人を憎む義父からの性的虐待の果てに生まれた娘が父の正体を探る旅を描く。 戦争による憎しみの連鎖を断ち切り、自らの人生の意味を問う「戦争の落とし子」たちの“父親捜し”の旅を見つめた。	太平洋戦争中、日本軍政下のインドネシアでは、日本人の軍人・軍属と、現地の蘭印系女性との間に、多くの子供たちが生まれた。戦後、母国オランダで、その子供たち「日系オランダ人」に向けられた、憎しみと差別については、これまで語られることがなかった。彼ら・彼女らの心の傷は、次世代へと連鎖してゆくのだろうか。太平洋戦争下における日本の加害性とも向き合い、それでもなお、希望を持って生きる人々を描いた、真摯な作品である。

優秀賞

タイトル・放送日・制作	スタッフ・出演者等	概要	選考理由
メ〜テレドキュメン ト 防衛フェリー ～民間船と戦争～ 平成 29. 8. 13 (日) 名古屋テレビ放送	プロデューサー 村瀬 史憲 ディレクター 依田恵美子 ナレーション 上田 定行 撮影 矢野健一郎 川原 和征 音声 宇都木 琢 編集 竹内 雅文 藤澤 貴英 音響効果 村上 祐美 MA 犬飼 小波 題字 安藤 慎也 編成 角田 和穂	防衛省が民間フェリーと船員を運用できる制度をスタートさせた。現在の防衛大綱は、北朝鮮と中国を「脅威」と位置づけ、有事の際に陸上自衛隊を九州・沖縄へ展開することを盛り込んだ。しかし自衛隊には部隊を運ぶ十分な艦船がない。防衛出動で民間人に乗せることはできない。そこで民間人を予備自衛官にする予備自衛官補を海上自衛隊に取り入れた。太平洋戦争中、漁船など数多くの船が「徴用」された。湾岸戦争時には日本政府が民間の輸送船をペルシャ湾に派遣。アメリカ軍の指揮下で行動し、イラク軍のミサイル攻撃に晒されていたことが判明した。	フェリーで自衛隊を運ぶ。有事の際には、民間人を予備自衛官にするという、戦時中の「徴用」に等しい重要な制度が、自衛隊に取り入れられていた。まさに今、伝えなければならない重要なことを人々に伝える。時代を捉えたジャーナリズムの本分であろう。

奨励賞

タイトル・放送日・制作	スタッフ・出演者等	概要	選考理由
<p>ヤメ暴 ～漂流する暴力団離脱者たち～</p> <p>平成 29. 11. 6 (月)</p> <p>CBCテレビ</p>	<p>プロデューサー 大園 康志</p> <p>ディレクター 下野 賢志</p> <p>カメラ 安田 耕治</p> <p>音声 村上 康平</p> <p>音響効果 今井志のぶ</p> <p>笠原 貴一</p> <p>テーマ曲 加藤エレナ</p> <p>題字 新田夕岐子</p> <p>CG 原 郁人</p> <p>ナレーション 國村 隼</p> <p>出演 西山 俊一</p>	<p>香川県の建設会社『西山組』会長の西山俊一 (66) は、かつて山口組系暴力団の組長だった。敵対組織をダイナマイトで襲ったこともある。解散したのは 38 年前。10 年前にはNPO法人『日本更生社』を設立し、全国の刑務所を訪ねては、服役する暴力団員らと面会。手紙のやりとりをしながら、組からの離脱を促し自らの会社の従業員として受け入れてきた。暴対法や暴排条例で暴力団は締め付けられ、その数は減少傾向にあるが、西山は言い放つ。「御上はただ締め付けるだけ。それだけでは本当の解決にはならない」と。いま、多くの元暴力団員＝ヤメ暴が漂流している。</p>	<p>暴対法、暴排条例の施行で、廃業に追い込まれる暴力団。では、その「ヤメ暴」たちはどこで何をしているのか。元暴力団組長の建設会社に密着取材し、その実態の一端を垣間見せる。警察との小競り合いの場面など、被写体との信頼関係が伝わってくる。</p>
<p>BS1スペシャル 銀嶺の空白地帯に挑む ～カラコルム・シスパーレ～</p> <p>平成 30. 2. 3 (土)</p> <p>NHKエンタープライズ オルタスジャパン NHK</p>	<p>語り 田中 哲司</p> <p>撮影 佐々木秀和</p> <p>平出 和也</p> <p>中島 健郎</p> <p>編集 林 宏</p> <p>音響効果 早船 麻季</p> <p>コーディネーター フェイサル・シャー</p> <p>取材 小川 典</p> <p>ディレクター 和田 萌</p> <p>プロデューサー 前川 誠</p> <p>制作統括 国沢 五月</p> <p>中島木祖也</p> <p>出演 平出 和也</p> <p>中島 健郎</p>	<p>標高 7611 m、パキスタン・カラコルム山脈にそびえる鋭鋒シスパーレ。氷と岩が入り組んだ垂直の北東壁は、多くの登山家の挑戦を退けてきた前人未踏の空白地帯だ。これまで数々の未踏峰・未踏ルートを踏破し、世界的な登山賞に輝いたアルパインクライマー平出和也は、この山に魅せられ、三度挑戦するも悉く敗退。2017 年夏、4 度目の挑戦へと向かった。だが、氷と雪の巨大な塊・セラック、怒涛の勢いで迫り来る雪崩、そして凍りつく一枚岩が行く手を阻む。前進を駆り立てたのは、志半ばでこの世を去った“相棒”登山家・谷口けいへの思いだった。果たして山頂に立つことはできるのか…?</p>	<p>本作品はクライマーである平出氏と中島氏が自ら登攀しながら、カラコルム・シスパーレの垂直北東壁登攀の様子を撮っている。これまで見たことのない場面の連続に、見る方も手に汗を握る。この迫力と臨場感に比肩し得る映像を見たことがない。</p>
<p>ETV特集 亜由未が教えてくれたこと</p> <p>平成 29. 7. 22 (土)</p> <p>NHK青森放送局</p>	<p>語り・ディレクター 坂川 裕野</p> <p>撮影 西脇 芳紀</p> <p>音声 濱納 稔</p> <p>映像技術 小林 歩夢</p> <p>音響効果 高石真美子</p> <p>編集 深堀 淳一</p> <p>制作統括 柳沢 晋二</p> <p>星野 真澄</p> <p>出演 坂川亜由未</p> <p>坂川 裕野</p> <p>坂川 智恵</p> <p>坂川 和俊</p> <p>坂川由里歌</p>	<p>19 人の命が奪われた相模原市の障害者施設殺傷事件。「障害者は不幸を作ることしかできない」と言い、入所者を次々と刺した施設の元職員の言葉が TV ディレクターの僕の心に深く刺さっていた。妹、亜由未 (23) は、事件の犠牲者と同じ重度の障害者だ。20 年以上、妹と暮らしてきて、僕は不幸だと感じたことはなかった。しかし、小さい頃から介助は親任せ。元職員の言葉を否定するために実家に戻って妹の世話をしながら、家族を撮影する決意をした。番組は、その映像記録を通して、障害者を育てる家族の本音、不安、そして共に生きる幸せとは何かを描く。</p>	<p>相模原障害者殺傷事件に衝撃を受けたディレクターの「僕」が、障害者の妹「亜由未」にカメラを向ける。障害者は不幸ではない、と証明するために。介護する家族の深い愛情と、それにこたえる「亜由未」さんの姿に感動を禁じ得ない。</p>

第44回 放送文化基金賞
「番組部門」
－ テレビドラマ番組 －

最優秀賞

タイトル・放送日・制作	スタッフ・出演者等	概要	選考理由
<p>金曜ドラマ アンナチュラル</p> <p>平成 30. 1. 12 (金) ～3. 16 (金) 〈全 10 回〉 応募は第 1 回、2 回</p> <p>ドリマックス・テレビジョン TBSテレビ</p>	<p>脚本 野木亜紀子 プロデューサー 新井 順子 植田 博樹</p> <p>演出 塚原あゆ子 竹村謙太郎 村尾 嘉昭</p> <p>出演 石原さとみ 井浦 新 窪田 正孝 市川実日子 薬師丸ひろ子 松重 豊 ほか</p>	<p>ドラマの舞台は、日本に新設された死因究明専門のスペシャリストが集まる「不自然死究明研究所＝通称UDIラボ」。そこで働くのは、法医解剖医の三澄ミコト(石原さとみ)・中堂系(井浦新)、臨床検査技師の東海林夕子(市川実日子)、バイト記録員の久部六郎(窪田正孝)、そして彼らを束ねるのが、UDIラボ所長の神倉保夫(松重豊)だ。</p> <p>UDIに運び込まれるのは、“不自然な死”(アンナチュラル・デス)の怪しい遺体ばかり。</p> <p>不自然な死の裏側には、必ず突き止めるべき真実がある。ミコトはクセの強いメンバーたちと共に、日々運び込まれる遺体と向きあい、メスを握る。</p> <p>テーマは「死と向き合うことによって、現実の世界を変えていく」。</p> <p>毎回さまざまな「死」を扱いながらも、スピード感と爽快感を持って、明るくスリリングに「死」の裏側にある謎や事件を解明していく1話完結型のエンターテインメント作品。</p>	<p>新たな知見を視聴者に与えると同時に社会に対して警鐘を鳴らすメッセージ性と、スリルやサスペンスに富んだエンターテインメント性の2つがテレビドラマの重要な資質であるとするなら、『金曜ドラマ アンナチュラル』はその2点を最も高いレベルで満たしていた。死因を究明することが私たちの将来につながるものが説得力をもって描かれていた。このドラマが契機となって、驚くほど低い日本の司法解剖率が改善されることを期待したい。</p>

優秀賞

タイトル・放送日・制作	スタッフ・出演者等	概要	選考理由
<p>特集ドラマ 「眩～北斎の娘～」</p> <p>平成 29. 9. 18 (月)</p> <p>NHK NHKエンタープライズ</p>	<p>原作 朝井まかて</p> <p>脚本 大森 美香</p> <p>音楽 稲本 響</p> <p>制作統括 佐野 元彦</p> <p>演出 加藤 拓</p> <p>美術 稲葉 寿一</p> <p>技術 水野 富裕</p> <p>音響効果 島津 楽貴</p> <p>撮影 相馬 和典</p> <p>照明 佐野 清隆</p> <p>出演 宮崎あおい 松田 龍平 長塚 京三 三宅 弘城 西村まさ彦 野田 秀樹 余 貴美子 ほか</p>	<p>北斎の娘・お栄(宮崎あおい)は「家事よりも絵」の性格が災いで出戻り、絵師として父の背を追う日々を過ごしている。</p> <p>ある日、絵師であり相談相手でもある善次郎(松田龍平)は、絵に悩むお栄を遊郭に連れ出す。光と闇が交錯する妓楼の情景、お栄が己の絵を見出した瞬間であった。</p> <p>父の病、母の死、善次郎との実らぬ恋、すべてを飲み込んでお栄は絵を描く。北斎(長塚京三)が老いて筆を動かさなくなってからも、お栄は父の「影」として北斎を支える。北斎は眩しい光、自分はその影。</p> <p>時は過ぎ、善次郎、そして北斎もこの世を去る。老いたお栄は独自の境地にたどり着く。「この世は光と影でできている」。</p>	<p>4Kで撮影され、極めて美しい映像美を演出、演技陣も充実して見ごたえのある作品となった。何より葛飾北斎の娘お栄(応為)をヒロインとし、陰になりがちな女性の生き方にまばゆい光を当てた点が評価された。</p>

奨励賞

タイトル・放送日・制作	スタッフ・出演者等	概要	選考理由
特集ドラマ どこにもない国 前編:平成 30. 3. 24 (土) 後編:平成 30. 3. 31 (土) NHK	原案 ポール・邦昭・マルヤマ 作 大森寿美男 音楽 川井 憲次 制作統括 中村 高志 演出 木村 隆文 美術 青木 聖和 音響効果 金本 美雨 技術 水野 富裕 撮影 藤田 浩久 照明 富岡 幸春 音声 高木 陽 語り 柴田 恭兵 出演 内野 聖陽 木村 佳乃 原田 泰造 蓮佛美沙子 満島真之介 片岡鶴太郎 萩原 健一 ほか	昭和 20 年。満州で丸山邦雄(内野聖陽)は終戦を迎えた。ソ連の占領下、取り残された日本人が略奪や暴行にさらされ、飢えと寒さで多くの命が失われていった。早期の引き揚げ実現を求め丸山は新甫八朗(原田泰造)、武蔵正道(満島真之介)と共に祖国日本への脱出を決意するがそれは命がけの行動だった。ようやくたどり着いた日本で政府が引き揚げを行う権限も実力も持たないと知り、引き揚げを訴えるキャンペーンを全国で展開、さらに吉田茂(萩原健一)、マッカーサーへ直訴。満州に残された妻・万里子(木村佳乃)はラジオで演説する夫の声で初めて生存を確認し涙する。昭和 21 年 4 月、多くの在留邦人が待ち望んだ引き揚げがついに実現する。	終戦後旧満州からの 150 万人を超える「引き揚げ」を実現したのは民間人の尽力によるものだったという衝撃の事実を壮大なスケールでドラマ化した作品。最優秀賞に匹敵するとの意見もあったが、議論の末に奨励賞となった。
新春ドラマスペシャル 娘の結婚 平成 30. 1. 8 (月) テレビ東京	原作 小路 幸也 脚本 水橋文美江 チーフプロデューサー 中川 順平 プロデューサー 阿部 真士 近見 哲平 監督 松本 佳奈 音楽 平沢 敦士 撮影 鈴木周一郎 照明 志村 昭裕 編集 普嶋 信一 出演 中井 貴一 波瑠 満島真之介 原田美枝子 段田 安則 光石 研 奥貫 薫 キムラ緑子 長谷川朝晴 椿 鬼奴 ほか	國枝孝彦(中井貴一)は妻・佳実(奥貫薫)の亡きあと男手ひとつで娘の実希(波瑠)を育ててきた。そんな娘に変化が訪れる。「会って欲しい人がいるの」。しかしある理由で会う決心がつかない孝彦は、友人の柴山(段田安則)に心情を吐露。相手はかつて住んでいたマンションの隣人、古市敏之(光石研)・景子(キムラ緑子)の息子で幼なじみの真(満島真之介)だった。だが一番の心配は景子がトラブルメーカーらしいこと。その事実を思い出した孝彦は、亡き妻と景子の間にも確執があったのではと不安になる。果たして娘にどう伝えるべきか? 思い悩む中、孝彦は大学時代の恋人・片岡綾乃(原田美枝子)と偶然再会。話をするうちに綾乃と景子の意外な繋がりが発覚し…。	原作・脚本の良さもあるが、しっかりと気持ちを通い合わせるキャストの演技が見事だった。特に男手ひとつで育ててきた娘を嫁に出す父親の揺れる心の中井貴一が情感たっぷりに演じた点が高く評価された。

第44回 放送文化基金賞

「番組部門」

— テレビエンターテインメント番組 —

最優秀賞

タイトル・放送日・制作	スタッフ・出演者等	概要	選考理由
<p>クレイジージャーニー</p> <p>平成 27. 1. 1～ 毎週水曜日放送中</p> <p>応募は、 ゴールデン2時間SP <平成 29. 8. 16 (水)></p> <p>TBSテレビ</p>	<p>プロデューサー 坂本 義幸 演出 横井雄一郎 ディレクター 塩谷 泰孝 今村 光宏 高畑 忠司 久野 公嗣 浜田 諒介 加用 裕紀 野村 和矢 出演 松本 人志 設楽 統 小池 栄子 ヨシダナギ ナレーター 加藤 英明 銀河 万丈</p>	<p>独自の視点やこだわりを持って世界を巡る「クレイジージャーニー」たちが、“その人しか知らない”常人離れした体験を語る伝聞型紀行バラエティ！</p> <p>ゴールデン2時間SPでは、爬虫類をこよなく愛する“爬虫類ハンター加藤”が、その目で希少種を見る為、カメルーンの密林へ！わずかな物音を逃さない驚きの感覚で「世界最大のカエル」、「角の生えたカメレオン」、「希少なアフリカコビトワニ」を次々ハント！川にダイビングしたり、危険なワニを素手で捕まえたりとそのハント術は超個性的！そして、なかなか見ることの出来ない不思議な生態を次々明らかにした！</p> <p>さらに、少数民族と同じ格好になり、心の距離を縮める写真家・ヨシダナギがブラジル・アマゾンに暮らすエナウエネ・ナウエ族の元へ！</p> <p>日本のテレビ初登場の民族だけあって、その文化は独特なものばかり！「頭で球を打ち合う儀式」、「木の実を唾液でのぼした伝統の化粧」など、彼らならではの風習に次々遭遇！最初は警戒されるも、次第に心を通わせて行き、ついにヨシダも服を脱ぎ、“同じ格好作戦”を決行！</p> <p>ラストに、彼らをモデルに唯一無二の写真を完成させた！</p>	<p>紀行ものの一種だが、大胆な冒険的要素を加えて、衝撃的なエンタメ番組に仕立てた。番組の成功は、冒険者の個性に負うところが大きい。応募された回では登場した二人の冒険者のうち、特に爬虫類研究者の加藤英明の無謀とも見えるハンター振りに驚嘆させられる。演出サイドも苦労話などの情緒的な説明を排して、矢継ぎ早に冒険を見せ、乾いたテンポの良さを見せた。捕獲したカエルやワニについての加藤の学者としてのウンチクの妙、ヨシダナギの写真の美しさが番組の厚みになっている。</p>

優秀賞

タイトル・放送日・制作	スタッフ・出演者等	概要	選考理由
<p>日々好日 ～河和田のお達人4兄弟～</p> <p>平成 29. 5. 20 (土)</p> <p>福井テレビ</p>	<p>プロデューサー 上坂 利信 谷口 維雄 ディレクター 棚田 恭子 撮影 伊藤慎一郎 MA 伊藤 美保 ナレーション 福田布貴子</p>	<p>福井県鯖江市河和田地区に、運動会で60メートルを疾走する超高齢の4兄弟がいる。大森良一さん(100歳)、栄一さん(97歳)、栄さん(90歳)、良作さん(88歳)だ。良一さんは病気がちの奥さんのために炊事から洗濯までこなし、畑でブルーベリーを育てながら趣味の社交ダンスやカラオケを楽しむ毎日。負けず嫌いの栄一さんは90歳を過ぎて運動に目覚め、毎朝100回の腕立て伏せを欠かさず、マスターズ陸上に出場している。</p> <p>番組では、良一さんの日常を中心に兄弟そろっての運動会や、ハプニング続出の兄弟旅行など、老いてなお意欲的に生きるスーパーおじいちゃんの姿を描く。</p>	<p>88歳から100歳までの4兄弟が、並んで運動会のトラックを走る、走る。妻を介護し、ダンスを教え、競技会に出場する。その姿が私たちに語り掛けるものは少なくない。高齢化の進む社会で、元気に暮らすヒントを多く含んだ番組である。</p>

奨励賞

タイトル・放送日・制作	スタッフ・出演者 等	概 要	選 考 理 由
<p>人名探究バラエティー 日本人のおなまえっ！ 村がつく名字</p> <p>平成 29. 11. 30 (木)</p> <p>NHK</p>	<p>制作統括 水高 満 国見 太郎</p> <p>演出 木村 和穂 田中 涼太 三日市篤史</p> <p>プロデューサー 一條 淑江 糸瀬 昭仁</p> <p>出演 古舘伊知郎 赤木野々花 宮崎 美子 澤部 佑 森岡 浩 中村 玉緒 木村 祐一 有村 藍里 中村 昌也</p>	<p>1000年の歴史を持つ10数万種類 の“名字”から、流行と歴史が 織りなす“下の名前”、さらには ペットやキャラクターのなまえ まで、広い射程で“おなまえ”を 取り上げ、日本のおもしろさを再 発掘する教養バラエティー番組。 平凡なイメージがある中村や 木村など「村がつく名字」だが、 実は、革命の誇りとして誕生した 名字であることが判明。封建支配 から独立し、「むらがって生きる」 ことから生まれたのが「村がつく 名字」だった。さらには、村がつ く名字で最も人口が多い「木村」 のナゾにも肉薄。実は、木村は「木 がある村」ではなく、教科書に載 るほどの有力豪族に由来する名 字だった！？</p>	<p>10 数万種あると いわれる名字だが、 それぞれに由来が ある。木村は「木 がある村」ではなく、 もともとは「紀村」 だったという結論 にたどり着くまで の、調査の過程の驚 きや発見の喜びを おもしろく見せた。 尽きることのない 素材である。</p>
<p>小野田さんと、雪男を探 した男 鈴木紀夫の冒険と死</p> <p>平成 30. 3. 25 (日)</p> <p>テレコムスタッフ NHKエンタープライズ NHK</p>	<p>演出 君塚 匠</p> <p>脚本 仲井 陽</p> <p>撮影 杉中 敏行 杉山 悟</p> <p>編集 大泉 渉</p> <p>AP 上野 直彦 石川 竜輝</p> <p>ディレクター 萩原 翔</p> <p>プロデューサー 奥田 朋之</p> <p>制作統括 千葉 聡史 島田 雄介 長嶋 甲兵</p> <p>出演 青木 崇高 塚本 晋也 山田 真歩 川口 寛 崔 洋一 もたいまさこ 田原総一郎 島田 雅彦 角幡 唯介</p> <p>ナレーター 和久田麻由子</p>	<p>戦後 29 年もの間、フィリピン のジャングルで戦い続けた元日 本兵 小野田寛郎。度重なる政府 の大捜索でも見つけられなかつ た小野田をたった一人で発見し、 命がけの対話の末に帰還を実現 させたのは、当時 24 歳の青年冒 険家 鈴木紀夫だった。鈴木はい かにして小野田と接触し、連れ戻 すことができたのか？その歴史 的遭遇の真実とは？その後、ヒマ ラヤで雪男探しに没頭した鈴木 は、雪崩に遭い 37 歳で生涯を閉 じる。70～80 年代、経済成長を 続ける日本社会に背を向け、夢を 追った鈴木。新たに公開された当 時の写真や資料も交え、彼の数奇 な人生をドラマ×ドキュメント で解き明かす。</p>	<p>恐らくは住民の 復讐を恐れて投降 できなかった小野 田寛郎氏に、鈴木紀 夫はどう接近した のか、二人の間に生 まれた信頼関係は 何だったのか。若い 冒険家の人物像を 時代の若者像とし て、興味深く描い た。俳優の演技、映 像にも目を見張る ものがある。</p>

第44回 放送文化基金賞

「番組部門」

— ラジオ番組 —

最優秀賞

タイトル・放送日・制作	スタッフ・出演者等	概要	選考理由
SBSラジオギャラ リー 幸せのカタチ～本当 の親子 本物の親子 ～ 平成 29. 5. 28 (日) 静岡放送	プロデューサー 松浦 康弘 レジョン・企 画・取材 原田亜弥子 構成・演出 菊池 勝 出演 原田亜弥子 根生 直子 岩崎真知子 静岡市内の 里親の皆さん	SBS アナウンサーの原田亜弥子 はある方からこんな話を聞きま す。「すごい人がある。実の子を4 人育てた後、今8人目の里子を育 てている」。血の繋がらない子供を 育てている事に興味を持った原田 アナは、その里親と静岡市の里親 家庭支援センターを訪れます。そ こには里親を温かく見守る職員 と、里親ならではの苦勞を乗り越 え作り上げた“家族のカタチ”が ありました。幼少期に愛情を与え られずに育った子供は、喜怒哀楽 の欠如や、愛着障害から里親を試 す“試し行動”を繰り返すなど様々 な問題を抱えている事が多く、里 親はこれ乗り越える事で新しい 親子関係が始まります。さらに、 乳児を里子に迎えた里親はいつか 出生の事実を伝える“真実告知” も待っています。こういった里親 の苦勞や悩みはなかなか表に伝わ ってきませんが、原田アナの粘り 強い取材とラジオだからこそ答 えてくれた、多くの里親のリアルな 声によって「本当の親子」ではな いが「本物の親子」になりたいと 願う、血縁を超えた親子関係を探 ります。	静岡での里親の問 題のさまざまを教え てくれる。「愛着障 害」とか「試し行動」 とか、深刻な葛藤を、 当事者である里親た ちが、とても具体的 にわかりやすく語っ ている。それは、取 材者と被取材者との 信頼関係がしっかり 出来上がっているこ とによって初めて可 能になることだ。た だ、母親に重点が置 かれ里子の声があま り聞かれない。父親 の影も薄い。これだ けでは終われない。 授賞は続編を鶴首す る意味でもある。

優秀賞

タイトル・放送日・制作	スタッフ・出演者等	概要	選考理由
神田・神保町 レコード屋のおかみ さん 平成 29. 12. 7 (木) ～12. 31 (日) 全国 35 局で放送 地方民間放送共同制 作協議会 火曜会	企画・解説 亀渕 昭信 脚色 石井 彰 音響効果 武田 勝美 演出 入江たのし 編集 高橋 直子 出演 樹木 希林 亀渕 昭信	東京は神田・神保町に 1930 年 に創業した「レコードの歴史・文 化の継承」をモットーとする老舗 レコード店「有限会社レコード 社」があります。 大正から昭和そして平成への激 動の歴史の音にじっと耳を傾け てきました。1940 年から店を手伝 い始め、以後社長として店を守 ってきた故・井東富二子さんが 2008 年から連載してきたエッセ イ「レコード屋のおかみさん 65 年」をもとにしたラジオドラマを 制作しました。レコードと音の 歴史を、東京大空襲でも生き残 った蓄音機の名器・クレデンザ と共に、神田・神保町で生まれ 育った樹木希林さんの語りと 亀渕昭信さんの解説でお送り いたします。	音楽と語りで綴る 一種古典的なラジオ 番組と言える。手回 し蓄音機の懐かしい 音が聞けるだけで、 充分魅力的である。 時代の流れをたど っていて、よく知 っている曲が流れる。 新しい知識は何も ないけれど、決定 的な安心感がある。 それは語り手の樹 木希林さんの力 量でもあろう。

奨励賞

タイトル・放送日・制作	スタッフ・出演者等	概要	選考理由
<p>原爆の惨禍を生き抜いて ～知られざる“原爆孤児”～</p> <p>平成 29. 8. 9 (水)</p> <p>NHK</p>	<p>取材 西垣 幸児 制作統括 碓田 潔 ディレクター 小川真利枝 ナレーション 兼清 麻美 音響効果 菊池 由香</p>	<p>広島では原爆によって数千人の子どもが両親を失い、いわゆる“原爆孤児”になった。幼い身で生きていかねばならなかった“原爆孤児”たちは、多くが飢えによって亡くなり、生き残った人も過酷な運命を強いられた。その実態は、戦後70年以上経た今もほとんど明らかになっていない。孤児の多くが入市被爆をしていたため、差別を恐れ、自分の体験をほとんど語れなかったからだ。NHKでは、爆心地に近い袋町国民学校の同窓生たちに丹念に取材を重ねることで、貴重な証言を得た。“原爆孤児”たちの過酷な運命を明らかにすることで原爆の惨禍を浮き彫りにした。</p>	<p>あれから70年以上たっても、この社会の片隅には非常に重たい傷が残っている。忘れ去られようとしている人々の声を残しておかなければならない。それはラジオの歴史的使命であろう。早くしなければ手遅れになってしまう。</p> <p>われわれの記憶に深く刻み込んでおかなければならない。</p>

第44回放送文化基金賞

「番組部門」

演技賞

受賞者	対象番組	選考理由等
みやざき 宮崎 あおい	特集ドラマ 「眩 ^{くらら} ～北斎の娘～」 NHK 〔NHKエンタープライズ〕 テレビドラマ番組	父・北斎に負けない絵を描こうとする熱意や意地、父を想う娘心、芸術に対する圧倒的な気迫を、江戸の気風(きっぷ)のよさをもって粹に演じた。

演技賞

なかい きいち 中井 貴一	新春ドラマスペシャル 娘の結婚 (テレビ東京) テレビドラマ番組	時に飄々と、時にユーモラスに、時に心を驚掴みにする深さをもって、じっくりじんわりと視聴者を虜にする。その演技力の確かさは定評あるが、今回はさらに素晴らしかった。
------------------	---	--

企画賞

しもの けんじ 下野 賢志	ヤメ暴 ～漂流する暴力団離脱者たち～ (CBCテレビ) テレビドキュメンタリー番組	元暴力団員たちの自立支援の現場を密着取材し、その困難さや表には出にくい実態を描いた。
------------------	--	--

脚本賞

のぎ あきこ 野木 亜紀子	金曜ドラマ アンナチュラル 〔ドリマックス・テレビジョン〕 TBSテレビ テレビドラマ番組	『アンナチュラル』のオリジナル脚本のリサーチ力、ストーリー展開やキャラクター描写のうまさは圧倒的。日本の司法解剖率の低さに警鐘を鳴らした点も高く評価されるべき。
------------------	---	--

出演者賞

かとう ひであき 加藤 英明	クレイジージャーニー (TBSテレビ) テレビエンターテインメント番組	番組『クレイジージャーニー』のなかを縦横に駆け回って、番組を牽引する爬虫類研究者である。爬虫類に遭遇すると、この人の心身は弾けるようなエネルギーを発して、見る者の心を熱くする。
-------------------	---	--

企画・制作賞

ほらだ あやこ 原田 亜弥子	SBS ラジオギャラリー 幸せのカタチ ～本当の親子 本物の親子～ (静岡放送) ラジオ番組	里親制度の現実を粘り強く取材し、体験者それぞれの困難や心の交流をていねいに伝えている。取材者と被取材者との信頼関係がしっかり出来上がっていた。
-------------------	--	---

第44回放送文化基金賞
「個人・グループ部門」
－放送文化－

受賞者	業績	業績内容・選考理由
なつ 夏井 いつき (俳人、エッセイスト)	『プレバト!!』にレギュラー出演し、全国的な俳句ブームを牽引	バラエティ番組『プレバト!!』(毎日放送)に俳句講師としてレギュラー出演。歯に衣着せぬ添削ぶりが人気となり、全国的な俳句ブームの立役者となった。これまでも『NHK俳句』の選者や『俳句王国がゆく』(NHK)の解説者として活躍してきたが、ゴールデンアワーに俳句を扱った番組を成功させ、放送を通じて幅広い層に俳句文化を普及させた功績は大きい。

受賞者	業績	業績内容・選考理由
「佐藤敏郎の Onagawa Now! 大人のたまり場」制作スタッフ (オナガワエフエム)	臨時災害放送局閉局後も「被災地の今」を被災者自らの手で全国に継続して発信	臨時災害放送局の「女川さいがいFM」は閉局後も放送継続を望む声が多く寄せられ、新たに「一般社団法人オナガワエフエム」を設立し、番組制作を引き継いだ。看板番組は『佐藤敏郎の Onagawa Now! 大人のたまり場』。TBCラジオ(東北放送)をキー局に毎週放送し、全国のコミュニティFMでも放送されている。パーソナリティの佐藤敏郎氏はじめ、出演者の多くが被災者であり、マスコミが伝えきれていない「被災地の今」を被災者自らの手で全国に発信し続けている。

受賞者	業績	業績内容・選考理由
発達障害プロジェクト (NHK)	発達障害の理解促進に貢献	『あさイチ』『ハートネットTV』『ウワサの保護者会』など複数の番組で、発達障害の理解促進のため立ち上げたプロジェクト。2017年5月の『NHKスペシャル 発達障害 解明される未知の世界』を皮切りに、これまで実態がよく知られていなかった発達障害について、多くの番組・企画を放送。当事者や家族の声に寄り添い、様々な角度や視点から、幅広い層に向けて番組を放送し続けている。

受賞者	業績	業績内容・選考理由
NHKロボコン (NHK)	30年にわたる日本およびアジア太平洋地区へのロボコンの普及	「アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト」は、1988年に全国の指導者とNHKの協力で始まり、30年にわたり、アイデアあふれるロボットを製作した学生たちの熱い闘いをユーモアたっぷりに放送し、青少年の独創性の育成を促進してきた。その取り組みは海外へも広がり、これまでに28の国や地域が参加する「ABUアジア・太平洋ロボットコンテスト」へと発展。AI時代を先取りした日本の放送文化が国際化した。

第44回放送文化基金賞

「個人・グループ部門」

－放送技術－

受賞者	業績	業績内容・選考理由
あまもと こういち 天本 光一 (フジテレビジョン)	クラウドプレイアウトシステムの開発	インターネット配信専用チャンネルの開設に伴い送出システムの構築が必要になるが、本システムは、クラウド上にシステムを構築することにより、従来型に比べ経費の低廉化を実現するとともに運用の簡易化、効率化さらにはチャンネル増等、拡張の簡便化を図った。今後増加が予想されるネット配信へ向けて、送出システムを低コスト、低リソースで構築できることは評価できる。今後の運用の中で高信頼性、安定性の実証を期待したい。

受賞者	業績	業績内容・選考理由
画像認識AI検討チーム (日本テレビ放送網、東芝、東芝デジタルソリューションズ) 代表 篠田 貴之 (日本テレビ放送網)	ロードレース中継における画像認識技術を用いた制作支援～AIを用いたReal-time Indexing～	駅伝中継におけるラップタイム表示はこれまで並走する中継車画像を人手で確認し表示していたため、長時間ではミスが発生もあり課題であった。本装置では出場校の選手をAIに学習させラップタイム表示を自動生成するとともに、重要シーン自動抽出機能等も加え、駅伝中継業務の効率化、高度化を実現させた。他の番組ジャンルへの応用も含めAIを活用し番組制作業務の効率化、高度化を実現できたことは評価できる。

受賞者	業績	業績内容・選考理由
8K小型カメラ開発・実用化グループ (NHK、日立国際電気、池上通信機、ソニーイメージングプロダクツ&ソリューションズ) 代表 崎山 剛 (NHK)	8K小型カメラの開発と実用化	8K・SHV放送の実用化へ向け当初の80kgを超えるカメラの小型化は8Kコンテンツ制作上必須の課題であった。新たな撮像素子の開発や信号処理の最適化により高感度化、HDRへの対応等高性能化を図りつつカメラ重量を当初の1/10以下に小型化し、現行TV放送と同様なコンテンツ制作を可能とさせたことは高く評価できる。今後、国内にとどまらず海外も含め、広く映像制作に活用されることが期待できる。